

# CentreCOM® WR211シリーズ ドライバーバージョンアップによる変更点について

この度は、「CentreCOM WR211PCM plus」、「CentreCOM WR211PCM」、「CentreCOM WR211PCI-OP」をお買いあげいただきまして、誠にありがとうございます。

本書は、付属のユーザーマニュアルに記載されていない内容や、ご使用前のご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。

今回、上記製品のドライバーバージョンアップにより、無線 LAN PC カードに関する設定やインストール、アンインストールの手順が一部変更になりました。製品に同梱されたお読み、ユーザーマニュアルとともにお読みいただき、本製品を正しくご使用いただけますようお願いいたします。

## ■ドライバーバージョン

ここで説明している変更点は、ドライバーバージョン「Ver 2.0 pl0」以降で対応しています。現在のドライバーバージョンは、「Configuration Utility」の「バージョン情報」タブで確認することができます。

## 1 無線 LAN PC カードの設定変更

弊社製無線 LAN PC カード、「CentreCOM WR211PCM plus」および「CentreCOM WR211PCM」の設定変更を行う「Configuration Utility」が変更になりました。

### ■基本設定

無線 LAN PC カードの基本設定は、「設定」タブから行います。設定タブで変更になったのは、次の項目です。

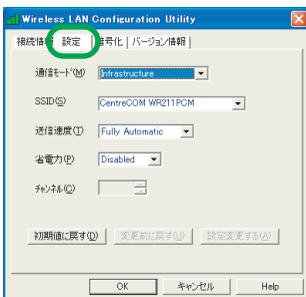


図 1.1 「Configuration Utility」の「設定」タブ

#### ●通信モード

通信モードでは、無線 LAN のネットワーク構成を設定します。「Infrastructure」（アクセスポイントを使用してネットワークを構成する場合に指定）、「Ad Hoc」（無線 LAN カードだけでネットワークを構成する場合に指定）のどちらかを

選択してください。

プルダウンメニューに「802.11 Ad Hoc」が表示されますが、現在対応しておりませんので、選択しないでください。



Windows XP 上で本製品を使用している場合には、通信モードの設定は、ドライバーのプロパティで変更してください。また、ドライバーのプロパティで、通信モード（Network Type）に「Ad Hoc」を設定した場合、「Configuration Utility」の「通信モード」には、ブランクで表示されますが、設定には問題ありません。

#### ●通信方式

通信方式の項目は、削除されました。

#### ●暗号

暗号の項目は、「暗号化」タブに移動になりました。

暗号の設定方法については、次の「■「暗号」の設定」を参照してください。

### ■「暗号」の設定

本製品では、無線ネットワーク上で交換されるデータを保護するため、暗号を使用することができます。暗号を使用して通信を行うためには、暗号を使用するグループのコンピューター全てに、同じ暗号を設定する必要があります。

### ●キーワード入力による設定

「キーワード」を入力して暗号を設定する手順について説明します。

- (1) 「暗号化」タブをクリックします。「暗号」欄で「40 Bit」を選択します。プルダウンメニューに「128 Bit」も表示されますが、本製品では、40Bit の暗号化のみ対応しておりますので、「128 Bit」は選択しないでください。

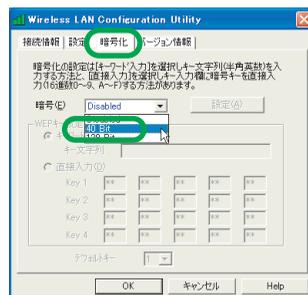


図 1.2 暗号を有効にする

- (2) 「40 Bit」を選択すると、「WEP キー設定」の項目が入力できるようになります。「キーワード入力」をチェックし、「キーワード入力」に、任意の半角英数文字を入力します。入力した文字の大文字と小文字は区別されます。入力できる文字数は、31文字までです。



図 1.3 キー文字列を入力

- (3) 「設定」ボタンをクリックすると、暗号キーが設定されます。

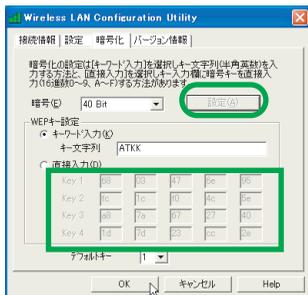


図 1.4 暗号キー設定



キーワードを入力して暗号化キーを設定する場合には、「デフォルトキー」の設定は無効です。

- (4) これで、1台のコンピュータの設定は終了です。暗号を使用して通信するには、通信先のコンピュータにも同じ設定をしなければなりません。続いて、他のコンピュータにも、同じように設定を行ってください。ただし、暗号キーの設定後、「暗号化」タブから別のタブに移動し、また「暗号化」タブに戻っても、入力したキーワードは表示されません(キーワードは、「\*」で表示されます)。

### ●暗号キーを直接入力する設定

暗号キーを直接入力して、暗号を設定する手順について説明します。

- (1) 「暗号化」タブをクリックします。「暗号」欄で「40 Bit」を選択します。プルダウンメニューに「128 Bit」も表示されますが、本製品では、40Bitの暗号化のみ対応しておりますので、「128Bit」は選択しないでください。



図 1.5 暗号を有効にする

- (2) 「40 Bit」を選択すると、「WEP キー設定」の項目が入力できるようになります。「直接入力」をチェックし、「key1 ~ 4」に直接、数値(16進数値)を入力します。



図 1.6 暗号キーを入力

- (3) key1 ~ 4のうちから、暗号化キーとして使用するkeyを選び、その番号を「デフォルトキー」欄で指定します。



図 1.7 デフォルトキーを指定

- (4) 「設定」ボタンをクリックすると、暗号キーが設定されます。



図 1.8 暗号キー設定

- (5) これで、1台のコンピュータの設定は終了です。暗号を使用して通信するには、通信先のコンピュータにも同じ設定をしなければなりません。続いて、他のコンピュータにも、同じように設定を行ってください。ただし、暗号キーの設定後、「暗号化」タブから別のタブに移動し、また「暗号化」タブに戻っても、入力した暗号キーは表示されません（暗号キーは、「\*」で表示されます）。

### ●暗号を使用しない

暗号を無効にするには、「暗号化」タブの「暗号」欄で、「Disabled」を選択してください。「Disabled」を選択した場合は、「WEP キー設定」の項目が、変更できないようになります。



図 1.9 暗号を無効にする

## 2 「Configuration Utility」のインストール手順

Windows NT4.0またはWindows 2000 上で、本製品を使用する場合の、ユーティリティプログラムのインストール手順が変更になりました。

これまで、ユーティリティプログラムのインストール途中で、「Configuration Utility をスタートアップに登録しますか?」という内容のダイアログボックスが表示されていたが、これが表示されなくなりました。

Windows NT4.0またはWindows 2000 上では、Administratorsグループ以外のユーザーでも、「Configuration Utility」の「接続情報」タブと「バージョン情報」タブを表示することができるようになりました。

## 3 アンインストールの手順

本製品をシステムから削除するには、「Uninstaller」を実行します。「Uninstaller」を実行すると、本製品のドライバーとユーティリティプログラムの両方が削除されます。この手順が次のように簡略化されました。

- (1) ネットワークコンピュータのファイルやフォルダを開いている場合は、閉じてください。ネットワークと通信を行っているアプリケーション（データベース、Telnet など）をすべて終了してください。
- (2) タスクバーの「スタート」ボタンをクリックし、「すべてのプログラム」または「プログラム」→「CentreCOM WR211PCM」または「CentreCOM WR211PCM plus」→「Uninstaller」をクリックします。
- (3) 「Uninstall CentreCOM WR211PCM」または「Uninstall CentreCOM WR211PCM plus」が現れたら、「はい」ボタンをクリックしてください。
- (4) 「コンピュータからプログラムを削除」が現れ、進行状態が表示されます。「アンインストールが完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。
- (5) これでアンインストールは終了です。

## ご注意

- 本書は、アライドテレシス株式会社が作成したもので、全ての権利をアライドテレシス株式会社が保有しています。アライドテレシス株式会社に無断で本書の一部または全部を複製することを禁じます。
- アライドテレシス株式会社は、予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますのでご了承ください。
- アライドテレシス株式会社は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 本製品の内容またはその仕様に関して発生した結果については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©2001 アライドテレシス株式会社

## 商標について

CentreCOMはアライドテレシス株式会社の登録商標です。  
Windows、Windows NT は、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。  
その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

## マニュアルバージョン

2001年 10月            Rev.A    初版